

1982年 11月 1日

島野 タイ 栄道師  
ニューヨーク禅堂  
223 東67街  
ニューヨーク、N.Y. 10021

親愛なるミスター島野：

1982年 10月 19日の貴方の独創的な手紙と、同封の同様に巧妙なジョージ じょうち ザウナスの手紙をありがとうございます。 貴方の文章を読んでゆくうちに、貴方が暗喩的な部分を改め、宗淵老師が真相を発見して“虚偽”と呼ぶに至った長年に渡る暗い霧を晴らすかもしれないという、些かの希望を抱いたのです。 しかし貴方の文章を読み終えた頃には、勿論、驚きという言葉が当てはまらなければ、失望しました。

“これほど多くの坐禅、これほど多くの接心、数限りない独参……”それでもなお、宗淵老師は貴方を、“嘘つき”と呼んだ。 なぜか分かりますか？ これは勿論、“勇敢な行進”への激励の言葉と取る事が出来るかもしれませんが。 しかし、この言葉は、間接話法の社会に住む宗淵老師から出た言葉です。 それでもなお、彼は最も率直露骨な言葉を使って貴方を“嘘つき”と呼びました。 なぜでしょうか？ 修養を重んじ、告白と真っ正直を要求する社会から来た宗淵老師が貴方を“嘘つき”と呼んだのです。 なぜでしょうか？ 去年の夏、貴方は大菩薩禅堂内の僧達に宗淵老師は、アルコール中毒患者であり、老衰して居るという誤見を植え付けました。 この老衰したアルコール患者が、なぜ貴方を“嘘つき”と呼んだのでしょうか？ …宗淵老師は、大菩薩を禅の王国に仕上げ、このアメリカの禅宗城が欲しかったのでしょうか？ もしそうなら、どうして彼にくれてやらなかったのですか？ 貴方は彼から禅を学び、昔、東嶺が白隠を地位のない、しかし実頭の人と呼んで、敬慕し、恩を感じていたように、宗淵老師に多大な恩恵を受けていたのではありませんか。 あれほど多くの接心、あれほど多くの坐禅、数限りない独参を経て、貴方は、…禅仏教の玩具、袈裟、禅堂、権力 … は夢でしかない、認めていたのではありませんか？ 禅の大家が夢に惑わされていて良いものでしょうか？

勿論、このような事は、貴方に分かる筈ありませんが、私の見た所、貴方の理解度は、地位ある人間の当然の権利として、独参室における真実性、純粋で公平であること、経営管理には些かの非難もあり得ないこと、貴方の地位に匹敵する尊敬はすべて貴方のもので、誰もこれに手を触れる事は出来ないということです。 疑問は、いったい誰が“狂人”なのか、“激しい個人的憎しみ”をいっているのは誰なのか、自分の禅堂が欲しいのは誰なのか、貴方が金持ちで彼らはそうでないので貴方を憎むのか、彼らは日本人を理解すべきであるのに理解しないのか。 勿論彼らは強力で、影響力のあるグループですが、貴方は、全く巧みに、根気よく彼らに対しています。 老練家という言葉が適当でなければ、巧妙な手腕家であると言えます。

ジョージ じょうち ザウナスが、彼の手紙で言及した（貴方を追跡する他の人々）以外に、この機会に、さほど威厳ある大人物ではないのですが、私達の僧伽を去った人々の事を思い出します。 引越したとか、もっと楽な進路を見つけた人々の事ではなく、ある驚くべき事件の発覚の結果、生涯修行の出来る、余裕のある、美しい禅堂を去った人々の事です。 ある人は腹をたて、ある人は混乱状態で去ったのですが、では、彼らが発見した事とは何だったのでしょうか？ 宗淵老師が貴方を“嘘つき”と呼んだ事でしょうか？ 私には分かりませんが、彼らが禅堂を去って行った時の悲しみは生涯忘れる事が出来ません： だいしん ピーター ガンビー、 まいしん マイク ソプロコ、 レイモン レイクリヴェロ、 げんみょう エリフ スミス、 そうじゅん ジョージ セラガニアン、 ぶんゆ デヴィッド ボガード、 ■■■、（この人たちは皆正法寺で貴方から得度を受けた人たちです。） かんざん ブルース リッケンバッカー（金剛経を丸暗記した、これも貴方の僧です）、 だいこう チャールス カーペンター（これも貴方の僧です）、 しょうろ ルー ノードストロム（これも貴方の僧）、

こうぜん ピーター カフマン（貴方の僧）、じょうねん シーラ カーテイス、えりん リン シュワインガーマー、えしん エステル ジラード、そうしん ジャニス リヴァイン、           ウェンデイ メガマン、           トニー スノウ、れいしゅう ジム ゴードン、しんそう ミレト ガレシ、いしん ピーター マーティン、ジーン デイ、キャロル ビンズワンガー、じょうち ジョージ ザウナス、わどう ヴィッキー ガーデイ、りんこ ペギー クロフォード、そして、むしん フランク ロシセロです。勿論、年を経るに従って、去った人の名簿は更に、長く、長くなって行きます。又、“噂に疑惑的”でない人と、貴方は異様な名称をつけるのですが、そのような人も空席の穴埋めをしてゆきます。

1975年から1979年の間に何人の弟子達が、直接貴方を尋ねてきましたか？（何時、何処で、誰と、を面白く参照するために“淫行ケース1”とか、“淫行ケース2”という具合に整理すれば一目瞭然でしょう）？何件？10件？20件ですか？私はよく知っているのですが、例外なく、貴方を尋ねて来る人は、敬慕の念を持って、世間に公表出来ない繊細な事項を、明らかにする望みを抱いて尋ねて来るのです。自分の周期的な性の満足を得る為に、（女を誘惑する為に）、独参室を設定し、巧妙に操縦し、僧伽の中から愛人を選び出す；やがて不要になれば、侮蔑して捨て去る；そして、自身の品行に対する率直な責任は無く、正直に心配して尋ねる者に対しては、“お前に関係ない”と、1975年の混雑した禅堂で、例の得意の一言で片付けてしまうのでした。

貴方の門前には、長い、長い人々の列が続いています。私の思う所彼らは黙したまま待っています。彼らとは、貴方が簡単に、頭の狂った連中とか、憎しみに燃えた連中と呼んでいるのですが、この頭の狂った連中は、何の理由も無く貴方の門前に来たのでしょうか？この頭の狂った連中にも彼らなりの理由があるのです。そうは思いませんか？

                      をごらんさない！彼女を覚えているでしょう？1979年、委員会宛に手紙を送った女性です。手紙の内容は貴方の性へのゆすり、恐喝でした。“私個人として、彼の（島野、貴方の）誘惑は、最初の結成中、非常に精神集中を妨げ、いらいらさせるものでした。…今思えば、もしこの事件がなかったならば、長い修行の結果として、現在よりも良い仏弟子にはなれなかったかも知れないと自問するのですが…そして去年、二度目の結成に参加した時、彼はかなりながい期間冷たく私に距離をおいていました。しかし、間もなく彼の機嫌は変わり、再び性的に行動し始めました。このような状況下で、（私だけでなく、他の女性もそうだと思いますが）、彼の弟子である事は困難です。彼の世話と援助を必要としながら、これが事の進展の始まりになるからです。師と弟子との正常な関係として、心を開くという事が、彼にとっては、セックスへの準備が出来たという暗示になるからです。”委員会は、貴方個人の委員会は、彼女の手紙の内容を十分に検討する事無く、論議する事無く、簡単に片付けました。コリン ブッシュの署名入り表明には、“私達の僧伽は栄道老師を指導者として信任する”とあります。

そして                      があります！彼女を覚えているでしょう？1977年12月24日、スタトラールヒルトンの1100A室で、ママレオンで夕食会があった後の事を。委員会のメンバーは、じょうちとコリンは、…私は推量しかできませんが…皆を煽動して、XXXは、ただ貴方との情交を夢見ているにすぎないと嘘の流言を広めました。そして彼女はこれらの嘘を受け入れました。真実彼女は、貴方を傷つけ、アメリカの禅修行の妨げになると信じたのですよ。後日、彼女は目撃者の前で言いました。彼は（島野、貴方は）有り難うとも言わなかった、と。

そして          ！…しかし貴方は勿論、さらに、さらに大勢の女性達を思い出す筈です。

長い、長い列は続きます。犠牲者に次ぐ犠牲者、菩薩に次ぐ気違い菩薩、疑惑、そして沈黙、受容という列は続きます。このような順応性というものが、はたして実際にあるものでしょうか。馬鹿馬鹿しい！もしかすると、多くの人々は、修行を始める段階で、感情と知性が受難の源であると言う解釈のもとに、進歩向上を目指してしていたのかもしれない。その苦痛により、自分の感情、知

性を、又はそれ以上のものを脇において、出来るだけ忠実、順応であろうとしたかもしれません。又もしかすると、彼らは、感情、知性は単なる幻想でしかないと、自らに言い聞かせたのかもしれませんが。そして多分彼らは、貴方の感情、思考だけは幻想によるものではないと信頼していたのでしょう。この信頼は間違った方向へ反らされたのですが、確実に人間的であり、理解出来る事です。残念ながら、これは以前も、そして現在も、誤摩化し、裏切りへと進展してゆくのです。多くの人々は、この私もその一人であることは分かっているのですが、少しずつ、やがて疑問を抱くようになる迄、感謝しながら貴方のもとで修行を続けるのです。二三の、あるいは何十もの疑問を抱いて彼らは貴方のもとへ来ましたが、貴方が愛人を脇に侍らせている事にたいしては問題視しなかったものの、全域を取り巻く侮辱と誤摩化しには好奇心を抱いて行きました。貴方は疑いなく、貴方の役にも立たない玩具を得ようと、やって来る人々を見て馬鹿者だと、嘲笑していたに違いありません。ところで、彼らはそのようなものを受け取らなかったと思いますが、違いますか？

貴方の誉れ高き日本伝統と武士道が新教徒的な未開人に対して、感応し理解する事を妨げるといつか貴方は言いましたが、禅の大家と呼ばれる貴方が、このアメリカに20年も住みながら、弟子の事も、周囲の環境の事もさっぱり理解出来ないとは少し変だとは思いませんか？ そのような人物が、このような職に就いている事は、間違っているのではないのでしょうか？ 真の日本人は、思慮分別がある筈であり、真の侍は、自分のグループ内で己の名誉のため、不正直な事はしないものだと思うのですが、こんな事を言う事自体狂気の沙汰なのでしょう。

勿論、この騒動の仲裁を買って出た精神科医、小倉ただお氏の場合は、同様の語句を当てはめるのは困難ですが、彼の案はどちらの側にもつかない“中立”な人物を三人、僧伽の中から選び出し、立会人として事件に関係した人から直接証言を聞き取り、委員会に報告するのです。貴方の委員会です。貴方にとってこの三人も狂人であり、止めを刺さなければならないのでしょう。コリン ブッシュによって煽動され、確かに、止めを刺されました。私には推量しか出来ませんが、この三人の中立人物は僧伽から消えました。

貴方の門前の長く列なす人々は、このような事は言いません。彼らは黙者です。彼らは消え去りました。私、きげんがこれを語っているのです。私は、自分の語った事、行った事には責任を持ちます。私には仲間がおりますが、私自身の言動に関しては責任を負います。私も間違いを犯したその他大勢の中の一人なのです。貴方を支持し、感謝を捧げ、祖師の禅仏教を学ぶ事に全力を尽くし、貴方の為に嘘をつき、沈黙を守り、貴方の裏切りを永続させようと耐え、そして狂気に走った一人なのです。

この狂気でもって、私は貴方に深く、有り難うと礼を言います。皮肉でも嫌みでもなく有り難うと言います。貴方が私に教えてくれたことを感謝します。禅仏教の機構以外に貴方は、本物の禅師の教えの価値が何であるかを教えてくれました。しかし、貴方の教えには独創的な明快さと、仏陀達磨を育てる力と、真に悟りを開いた人間に共通の素直さに欠けています。それでも、貴方の教えは見事でした。私が私の生命と禅の修行を価値あるものと思う程に、この教えも価値あるものと思います。

今こそ、新しい可能性の始まりです。… 貴方の、私の、僧伽の … 常に新しい始まりがあります。私は今祈ります。私達の皆が、やがて死に面した時、強い安らかな呼吸と共に、真の理解に到達し得た微笑が得られるよう、祈り続けます。

ありがとう、さようなら。

アダム フィッシャー